

# 令和8年度 大田区立清水窪小学校 学校経営計画

令和8年4月28日  
大田区立清水窪小学校  
校長 志賀 克哉

## 令和8年度 特色ある教育活動の推進

- ① おおたサイエンススクール(16年次)  
「未来の科学を担う『科学大好きな子ども』を育てる」科学教育を推進します。文部科学省教育課程特例校として、全学年年間35時間「サイエンスコミュニケーション科(SC科)」を設定し、思いや願いの実現に向け、問題を科学的に探究し、自然や他者との対話を通して、科学の有用性に気づき、実生活や社会に生かそうとすることも育成します。令和8・9年度大田区教育委員会教育研究推進校として指導内容と指導方法の改善・充実を図ります。  
また「SC科見学」や「東京科学大学研究室訪問」など、科学にかかわる体験活動を充実させ、児童の科学への興味・関心を高めます。
- ② コミュニティ・スクール(4年次)  
学校運営協議会を通して、学校と地域が連携し情報の共有化を図り、「地域と共にある学校」を目指すとともに「科学大好きな子ども」を育てる学校づくりを推進します。  
地域学校協働本部(清水窪応援隊)と協働し、東京科学大学や地域人材の協力による「土曜・夏休みわくわくスクール」の企画・運営のほか、東京科学大学留学生との国際交流会、ふれあい給食会、昔遊び交流会、授業支援などの取組の充実を図ります。
- ③ 異学年交流(たてわり班活動)  
全校遠足、たてわり遊び、たてわり音読会等の異学年の交流を通して、互いに認め合う態度や思いやりの心を醸成します。
- ④ 清水窪かしわ太鼓  
24年の伝統ある和太鼓学習を特色ある教育活動として位置付け、和太鼓発表会や地域行事等への参加を通して、日本の伝統文化の理解と地域に貢献する態度を養います。
- ⑤ 教科担任制の実施(令和8年度小学校教科担任制加配校)  
中学年以上で、教科等の指導を加配教員と担任が分担して行うとともに、音楽・図画工作・家庭・外国語を専科教員等が担当し、教員の指導力向上と児童の学習意欲の向上を図ります。また、低・中・高学年に副担任を配置し、児童理解と生活指導の充実を図ります。

## 第4期大田区教育振興基本計画「おおた教育ビジョン」 「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てる」

### 学校教育目標

人間尊重の精神に基づき、国際社会において信頼と尊敬を得られる人間の育成を願うとともに、東京都や大田区の教育目標及び大田区教育振興基本計画の趣旨を踏まえ、本校の豊かな学習環境を生かし、知性と感性に富み、主体的に行動できる児童を育成できるように、次の目標を設定する。

自然や友達を大切にする子 心身ともにたくましい子 よく考え、最後までやりぬく子

### 目指す学校像

「清水窪小学校で学んでよかった」、「清水窪小学校に通わせてよかった」、「清水窪小学校で仕事ができよかった」と、子どもも保護者も地域も教職員も、ウェルビーイングを実感できる、「笑顔とあたたかさあふれる清水窪小学校」を目指します。

- 子どもが互いのよさを認め合い 共に高め合う学校
- 教職員が熱意と使命感をもち、生きる力を 共に育む学校
- 家庭・地域と連携・協働し、信頼され 共に創る学校

### 「おおたサイエンススクール」<科学大好きな子どもを育てる学校>

科学教育の推進を通して、自然や人、もの、ことと豊かに関わり、科学的思考力、コミュニケーション力を発揮して、主体的・対話的に学びを深め、未来の科学を担う「科学大好きな子ども」を育成します。

- 大田区教育委員会指定「おおたサイエンススクール」(平成23年度～)16年次
- 文部科学省教育課程特例校指定(平成25年度～)14年次
- 国立教育政策研究所教育実践検証協力校(令和6・7・8年度)
- 大田区教育委員会教育研究推進校(令和8・9年度)、理科教育推進拠点校  
・サイエンスコミュニケーション科のカリキュラムの充実・改善 ・サイエンスフェスティバルの充実  
・東京科学大学研究室訪問(2～6年)、SC科見学(科学館・博物館・動物園等の見学)の全学年実施  
・科学への関心を高める取組の充実(SC日記・科学掲示物・科学ショー・サイエンス朝会等)  
・地域学校協働本部(清水窪応援隊)による、科学に関する講座「土曜・夏休みわくわくスクール」の充実

## 目指す教職員像

- 高い使命感をもって職務を遂行する教職員  
・児童の心身の健康・安全を最優先する確実な対応  
・正しい人権感覚をもった指導と支持的風土の醸成  
・子どもの主体的な学びを支援する「学びの伴走者」  
・保護者と連携した適切な対応 ・服務規律の順守
- 互いに連携・協力し、組織的に改善を図る教職員  
・組織としての指導体制の構築(チーム清水窪)  
・報告・連絡・相談の徹底 ・共通理解と共通実践  
・互いに支え合う教職員集団(ファミリー清水窪)
- 新たな教育を標榜し、創造する教職員  
・自己の専門性を高め、積極的に発揮する姿勢  
・地域や外部教育団体等と連携・協力する姿勢  
・社会の変化を的確に捉え、改善に取り組む適応力
- 高い危機管理意識をもった教職員  
・事故を未然に防ぐ指導と事故発生時の迅速な対応  
・問題行動の未然防止のための意識的・組織的な対応
- 常に学び続ける教職員  
・授業力向上推進校として、講師を招聘した研究授業・校内OJT、指導訪問の活用による授業改善の推進  
・校外研修・指導教諭等公開授業への積極的な参加
- 働き方改革の推進による、児童と向き合う時間の充実  
・ICTを活用した仕事の効率化、放課後の時間の創出  
・教職員の業務量管理・健康確保措置による、児童の教育に最大のパフォーマンスを発揮できる環境づくりの推進

## 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成

### 確かな学力の向上

～他者と協働し、主体的に学ぶ力の育成～

- 主体的・協働的な問題解決の学習、見通しと振り返りの場を位置付けた授業づくりを工夫し、知識・技能の習得及び思考力や表現力を育み、学びに向かう力の涵養を図ります。
- 一人一台のタブレット端末を有効に活用し、情報活用能力と情報モラルを高め、学習の充実を図ります。
- 朝読書、たてわり音読会、読み解きタイムなど、学校図書館を活用した読書活動を推進し、読書習慣の定着と読解力の向上を図ります。
- 算数科において、児童の習熟度に合わせた習熟度別少人数学習や補習教室等を実施し、基礎・基本の定着を図ります。
- 大田区学習効果測定の結果分析を基に、授業改善推進プランを作成し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図ります。
- 低学年(年間25時間)・中学年(年間35時間)の外国語活動を行い、英語に親しむ機会を充実させ、高学年の外国語学習につなげます。
- 外部専門機関、外部人材と連携した学習活動の充実を図ります。

### 豊かな心と社会性の涵養

～規律ある生活習慣・態度の醸成～

- 人権に関する講話、人権標語、人権ポスター等を通して人権尊重の精神を育みます。
- コミュニケーションの基本である「挨拶と言葉遣い」の指導の充実を図るとともに、「清水窪スタンダード」を基に、日常生活における規律の必要性の認識を高め、社会の一員として重要な規則尊重の意識の向上を図ります。
- 特別の教科道徳を人権教育の要として位置付け、「主として人との関わりに関すること」の内容項目を重点とし、他者によりよく生きるための基盤となる道徳性を養います。また、道徳授業地区公開講座を通して家庭・地域と共通理解を図ります。
- いじめアンケートを毎月実施し、いじめ等の早期発見と早期解決に努めます。
- 「たてわり班」による異学年交流活動を通して、自己の成長の自覚と思いやりの心、自己有用感の醸成を図ります。
- 東京科学大学留学生との国際交流会、ふれあい給食会、昔遊び交流会など、地域の方々との触れ合いを通して、社会性や地域の一員としての自覚を育みます。
- 和太鼓学習「清水窪かしわ太鼓」を通して日本の伝統文化への理解と愛着を深めます。
- サポートルームや関係教職員、関係機関との連携を密にし、特別な支援を要する児童や不登校傾向の児童の自立に向けた支援の充実を図ります。

### 健康・体力の向上

～自ら健康で安全な生活を創り出す力の育成～

- 運動会、水泳検定、体育朝会、持久走記録会等の体育的行事を充実させ、児童の体力の向上を図ります。
- 体力テストに向けた自己の目標の設定及び練習設定と、結果から課題を把握し、体力向上の取組を推進します。
- 体育授業や持久走月間・縄跳び月間などの取組の充実を図り、運動に親しみ、運動に意欲的に取り組む態度を養います。
- 「早ね・早おき・朝ごはん月間」、健康チェックカード「げんきいっぱい□年生」の取組を通して、学校と家庭が連携して健康的な生活習慣の定着を図ります。
- 学校給食を通して、食への興味・関心を高め、望ましい食習慣を形成する食育を推進します。
- 体育・健康教育授業地区公開講座をはじめ、地域、外部団体との連携を図り、健康的な生活態度の体得を図ります。
- 安全・安心な環境整備と防災・交通事故防止・不審者対応等、危険を回避する能力を育てる安全教育の充実を図ります。